

城北中学校区新統合小学校 開校準備ニュース

令和5年(2023年)6月 No.5

発行者：飯山市城北中学校区新統合小学校開校計画推進会議
(事務局)

飯山市教育委員会事務局 子ども育成課学校教育係

電話：0269-67-0741

メール：kodomo@city.iiyama.nagano.jp

城北中学校区の4つの小学校(泉台・常盤・戸狩・東)を統合し令和7年4月開校予定の、城北中学校区新統合小学校の開校に向けた検討を行っています。

城北中学校区新統合小学校開校計画推進会議では、市民の皆様へ「開校準備ニュース」やホームページにより随時、検討・準備状況をお伝えしてまいります。



飯山市ホームページ
(開校準備情報)

学校名アンケート結果に基づき最終校名案を選定しました

城北中学校区にお住まいの児童・保護者を 対象に学校名アンケートを実施

飯山市教育委員会では、城北中学校区新統合小学校の校名案(令和5年2月に公表)に関する意見募集でお寄せいただいたご意見を踏まえ、令和5年4月24日～5月10日に、城北中学校区にお住まいの小学校児童及び保護者と、未就学児の保護者を対象に、学校名アンケートを実施し、右表の結果となりました。

アンケート結果を踏まえ

「城北小学校」を最終校名案として選定

5月18日には、アンケート結果を踏まえ開校計画推進会議で校名最終選定案について協議しました。

協議の結果、アンケートで最も多くの方に選ばれるなど地域になじみがあり、隣接する城北中学校との小中連携教育の象徴となるよう「城北小学校(じょうほくしょうがっこう)」を校名案として選定し、5月23日にアンケートに協力いただいた城北中学校区4小学校の児童と保護者、翌24日には、飯山市ホームページを通じて市民の皆さんに公表させていただきました。

学校名アンケート結果

校名案	児童	保護者 (未就学児・児童)	計
飯山虹の丘 小学校	60	43	103
城北 小学校	193	179	372
その他	25	16	41
未回答	3	51	54
計 (対象者数)	281	289	570

この校名案は、市議会6月定例会において学校設置条例の改正案として審議いただき、承認されれば、正式に新統合小学校の校名として決定されます。

校名検討の経過を大切にして 各検討を進めていきます

今回のアンケートでは「虹の丘」という名前に応募していただいた児童保護者も一定数ありました。これらの方々の思いも大事にしながら、校章、校歌、教育方針、教育計画等の検討を進めていく予定です。

「校章デザイン原案」公募について

【校章分科会】

新統合小学校の校章について検討してきた校章分科会では、校名正式決定後から、校章のデザイン原案を募集します。

募集の概要は以下のとおりですが、城北中学校区の小学校児童をはじめ、どなたでもご応募いただけますので、ぜひお寄せください。

校章デザイン案の募集概要

●応募資格

城北中学校区の小学校児童のほか、新統合小や通学する子どもたちへの願いや想いのある方であればどなたでも応募可

●選定方法

候補案選定

応募作品について、校章分科会において数点のデザイン原案を選定。

児童・保護者アンケート

選定された複数のデザイン候補について、城北中学校区小学校児童及び保護者、城北中学校区の未就学児保護者を対象にアンケートを実施。

最終候補案選定

アンケート結果により、最も多くの方に選ばれた1点を校章デザイン案として選定。

●公表

アンケート結果は、開校計画推進会議の承認を経て速やかに公表します。
なお、採用作品を応募いただいた方の氏名とお住まいの市町村を公表させていただきます。

●募集要項等

詳しい募集要項・スケジュール等は、7月初旬に市ホームページ等でお知らせします。

4小学校の校章



泉台小



常盤小



戸狩小



東小

「運動服デザインアンケート」を行います

【運動服分科会】

運動服について保護者の皆様のご意見をお聞きするためのアンケートを、右記実施概要のとおり実施させていただきます。



運動服については、開校準備ニュースNo.4で仕様をお伝えしましたが、アンケートは仕様に基づく複数のデザイン案について、どれが良いかをお聞きするものです。

対象の方にはアンケートにご協力をお願いいたします。

運動服アンケート実施概要

●アンケート対象者

- ① 城北中学校区小学校に通学する児童
- ② ①の保護者
- ③ 城北中学校区にお住まいの未就学児の保護者

●実施時期

7月3日（月）～7月20日（木）

●配布・回収方法

- ①②の方は各小学校を通じて配布・回収、
- ③の方は、ご自宅に用紙を郵送します。
（返信用封筒によりご提出ください）

保護者の方々や地域の区長さん等で構成する通学方法等検討委員会は、令和5年度が始まって最初となる、第4回会議を5月30日に市役所で行いました。

新統合小学校の通学方法については、昨年度、3回の検討委員会会議のほか、地域懇談会（令和4年10月）、小中学校保護者アンケート（同12月）、通学方法等に関する意見交換会（令和5年2月）などで地域の方や保護者の方からいただいたご意見について、必要に応じ現地確認を行い1つずつ検討しながら、より良い通学方法に向けた検討を重ねてきました。

第4回会議では、新統合小学校が開校する令和7年度からの市全体の小中学校の通学基本方針、城北中学校区新統合小学校の地域ごとの通学方法などについての検討経過、今後のスケジュールの確認などを行いました。

今後は、通学路の安全対策や道路除雪などの要望いただいている事項について、関係機関と協議等を行い、8～9月に計画している城北中学校区での地域懇談会でご意見を伺い、12月頃に行う地域説明会で地域の皆さんにお知らせをしていく予定です。

「城北中学校区新統合小学校の通学方法」は以下のQRコードからご覧いただけます。



小学校児童及び中学校生徒の通学基本方針【令和5年5月現在検討委員会案】

（令和7年4月からの市内小中学校の通学基準）

市内小学校児童・中学校生徒の通学は徒歩通学を原則とします。

ただし学校までの通学距離が一定を超える場合等は、以下のとおりとします。

【以下、（１）（２）は小中学校共通、（３）は中学校の通学基準となります】

（１）遠距離通学となる3km以上（低学年2.5km以上）の小学校児童及び5km以上の中学校生徒への通年通学支援。（冬期は2.5km以上の児童及び3km以上の生徒）

通学支援の対象となる地域の通学方法は、以下の中から居住地域によって飯山市教育委員会が指定するものとします。

- ・JR、路線バス等運賃に対する補助（全額）。
- ・スクールバスの運行。

（２）個別の児童生徒の安全な通学のための例外的な措置および、橋梁を利用しなければならない地域や、風雨・風雪・地理条件等を特に考慮すべき地域への通年又は冬期通学支援。

（３）通学距離が概ね3km以上の地域における夏期自転車通学の認可。

- ・利用者（保護者含む）が必要に応じて自転車通学を学校長へ申請。
各学校の運営（きまり）に基づき認可を行う。
- ・認可条件（自己による自転車保険加入及び点検等）を含むとともに各学校での講習を受講。

※各小中学校における区域ごとの通学方法（徒歩又はバス等）は本基本方針に基づき飯山市教育委員会が別に定めるが、令和7年4月以降の通学の実情等に応じ、見直しの必要があると認められる場合は、その都度見直すこととする。

先進地視察を行いました

【コミュニティスクール再編成分科会】

コミュニティスクール再編成分科会では、5月26日、大町市の小中学校の視察を実施。飯山市から統合する小学校の学校運営協議会の会長や校長先生、その他教育委員会事務局職員などが視察に参加しました。

最初に視察した美麻小中学校は、平成26年度に小中一貫校としてコミュニティスクールを開始。ボランティアによる学校支援はもとより、地域と学校が連携し協働する学校として先進的な取り組みを進めています。

次に視察した大町東小学校も、文部科学省型コミュニティスクールとして地域と学校が一体となって子どもを育む活動を大切にしてきており、学校運営協議会が主体となって地域の宝を活用したふるさと学習の実践が積み重ねられています。

両校とも、飯山市が新統合小学校での実施を検討している、地域の方を先生として放課後の子どもたちがさまざまな活動を行う「放課後子ども教室」を運営しており、実際に担い手となっているコーディネーター、学校運営協議会委員、校長先生などのお話をお聞きしたほか、その1つである「英語で学ぶ野外教室」を見学し、統合小学校のコミュニティスクール再編成に向け、大いに意義のある視察となりました。



美麻小中学校コミュニティスクールで行われている「英語で学ぶ野外教室」



大町東小学校の視察では、活動状況について関係者に説明いただきました。

各校で閉校記念事業の検討が始まりました

【記念行事等検討部会】

統合する4校では令和7年3月の閉校に向けて、地域・保護者・学校職員等で構成される閉校記念事業実行委員会が結成されます。今年6月中には、全ての学校でこの委員会を中心とした記念事業の検討がスタートします。

5月24日には常盤小学校で第1回閉校記念事業実行委員会が開催されました（右写真）。冒頭、実行委員長の平野弘蔵氏から「130年以上の歴史をもつ常盤小学校に感謝の気持ちを持ち、常盤地区みんなで創り上げる閉校記念行事をしたい」といった趣旨の話がありました。その後は記念誌刊行部会、記念式典部会、記念品部会の各部に分かれて、事業内容や見通しについて活発な議論が交わされていました。

また、各小学校では子どもたちに、閉校にむけてやりたいことのアイディアアンケートを実施し、子どもたちの声も大切にしながら、記念事業等を考えていくとのことです。

今後、各校で記念誌、記念式典、記念品の3つを中心とした事業を推進していくこととなります。大切な学校が閉校してしまうのは寂しいことですが、子どもや地域の方の思いを受け止めつつ、みなさんにとって本当に心に残る記念事業となることを願っています。

